

キャラクター名  
UNIVERSE

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン ノイマン	ワークス	レネゲイドビーイングA	カヴァー	次世代型アンドロイド
オプション		年齢	?	性別	ない
覚醒	忘却	衝動	解放	初期侵食率	40 %
出自	最後の希望	経験	記憶喪失	邂逅	忘却

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	0	1	0			1	行動値	8
感覚	0	0	1			1	(非装備時)	8
精神	6	0	0			6	戦闘移動	13
社会	2	0	0			2	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃	1		RC			交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:ウェブ	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
80↓	白兵	12r+1	8	10		1+2+3+4+5 コスト11
80↑	白兵	13r+16	7	13		1+2+3+4+5+6 コスト15

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
ウェポンケース	1	0	0	0	オートで武器装備
ナックルダスター	1	0	0	0	攻撃力+1
		合計装甲:	0	合計回避:	0

所持品	
思い出の一品	

ロイス			
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム消費
起源種	P 憧憬	N 不信感	
	P	N	
	P	N	
	P	N	
	P	N	
	P	N	
	P	N	

最大財産P: 4 残り財産P: 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ヒューマンズネイバー	1							
効果: 衝動判定時に+[Lv]個								
オリジンサイバー	1							
効果: 【社会】の判定に達成値+[Lv*2]								
コンセントレイト	1	2	Xジャー	-	-	-	-	
効果: C値[-Lv]								
コントロールソート	1	2	Xジャー	-	-	-	-	
効果: 精神で白兵が振れる								
オウガバトル	1	2	マイナー	-	-	-		
効果: メインプロセス攻撃力+[Lv+2]								
コンバットシステム	5	3	Xジャー/リアクション	-	-	-	-	
効果: <白兵>ダイス[Lv+1]個								
エクスマキナ	2	4	Xジャー/リアクション	-	-	<白兵>	リミット	
効果: コンバットシステムと併用 達成値+10 シナリオLv回								
急所狙い	3	2	Xジャー	武器	-	<白兵>	-	
効果: 攻撃力+[Lv x2]								
勝利の女神	5	4	オート	視界	単体	自動	100↑	
効果: 判定の達成値+[LV*3] ラウンド1回								
写真記憶	1							
効果: 記憶がすごい								
暗号解読	1							
効果: google翻訳								

「違うんです私はUNIVERSEじゃないんです！自分で言ってるんですけど絶対信じてもらえないよこれ！！」  
「あー！！やめて写真を撮らないで！コスプレとかじゃないんです！」  
「なるほどすべてわかりました！つまりは殴り倒せば解決ですね！」

「Unfinished Numerical Integrator Variable Electronic Renegade System Equipment」  
『未完成の数値積分器可変電子レネゲイドシステム装置』  
頭を取ってUNIVERSE。

240.84EHz という地上最高性能の処理能力を持った、超性能アンドロイド。  
ノイマンの設計図を基に、アプロジウス教授によって作られた。

……のだが、彼女は自分のことをUNIVERSEではないと主張している。  
じゃあお前は誰なんだよと聞くと、答えることが出来ない。  
即物的でポンコツな、なんか知らんが変な奴。  
子供が好きで、暇なときは公園で子供たちと遊んで一緒に歌を歌っていたりするような感じ。  
異様に表情が豊かで、見た目も声も完全に人間で、瞬きもするし涙も流す。水だけだ。  
が、何かを考えるとときにチチチチ...と音がする。

-----  
その精神の正体はPC1のかつての友人、ステラ・ベル。